

この申立書の写しは、法律の定めるところにより、申立ての内容を知らせるため、相手方に送付されます。

申 立 て の 趣 旨

相手方が、申立人の嫡出であることを否認するとの調停・審判を求めます。

申 立 て の 理 由

- 1 申立人は、相手方の母乙川春子と平成〇年〇月〇日に婚姻しましたが、当時共働きであったため、当分の間子をもうけないこととし、避妊方法を講じてきました。
- 2 令和〇年〇〇月ころ、春子は、突然申立人と離婚したいと言い出しましたので、その理由を問いただしたところ、春子は、勤務先の同僚〇〇と同年〇〇月ころから肉体関係を結び、その結果、相手方を妊娠していると告白しました。
- 3 申立人は、令和〇年〇月〇日に春子と協議離婚しました。その後、春子は〇〇と同棲し、令和〇年〇月〇日に相手方を出産しました。
- 4 申立人は、令和〇年〇月〇日に相手方の出生を知りましたが、以上のように相手方は申立人の子ではないので、申立ての趣旨のとおり調停・審判を求めます。

(別紙)

※ 相手方法定代理人親権者母	本 籍	〇〇 都 道 府 (県) 〇〇市〇〇町〇丁目〇番地
	住 所	〒 — 相手方の住所と同じ () 方)
	フリガナ 氏 名	オ ツ カ ワ ハ ル コ 子 乙 川 春 子 大正 〇 年 〇 月 〇 日 生 昭和 〇 年 〇 月 〇 日 生 平成 〇 年 〇 月 〇 日 生 令和 (〇) 歳